



外国出張報告書

平成27年9月14日

1. 出張国名 フィリピン
2. 出張月 平成27年9月
3. 出張目的 国際稲研究所との共同研究の打ち合わせ：B

4. 成果の概要

イネの出穂性を改変し早生化することによって、収量低下、病虫害、ストレス障害等が発生しやすくなることが確かめられた。また、IRRI が育成した既存品種の出穂性や収量に関する情報を得ることができた。これらは、新たな共同研究を実施していく上で有益な情報であった。これらを踏まえて、IRRI-Japan 共同プロジェクトで開発した出穂性改変系統群等を活用した育種素材の作出を行うとともに、さらなる出穂期の短期化を目指して新しい遺伝資源の導入と評価を進めることとした。